

科目名		一般構造Ⅰ				
担当教員		目黒 敬也		実務授業の有無	○	
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方		建築物の構造の種類や基本的な仕組みを学ぶ科目で前期は木構造を主体に学び、木構造の特徴や木構造の構成を座学や事例を通して学ぶ。				
学習目標 (到達目標)		建築物の構造の種類や基本的な仕組みを習得する。前期は木構造を主体に学び、木構造の特徴や木構造の構成を習得し、2級建築士学科試験の科目範囲の合格点に達するための知識を習得する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		①図説 やさしい建築一般構造（学芸出版社） ②配布プリント				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1	基礎 ①基礎の種類と特徴			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
2	地盤 ①地層による年代区分と、土の性質			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
3	建物にはたらく力 ①荷重の種類・外力の種類と建物にかかる力 ②地震に対する対策と構造計算			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
4	建物全体の構造計画 ①建築構造の分類とその特徴 ② 計画に適した構造の選択			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
5	木構造の基礎知識 ①木材の性質、特徴 ② 木構造の種類とその特徴			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
6	在来工法-1 ①在来工法の部材の名称 ②在来工法の基礎と地業の種類と特徴			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
7	在来工法-2 在来工法の軸組の各部材（土台・柱） ① ②在来工法の軸組の各部材（横架材・筋かい）			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
8	在来工法-3 ①在来工法の壁の種類と特徴 ② 開口部の部材の名称			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
9	在来工法-4 在来工法の接合部の納まりと接合金物 ① ②補強金物の種類と使用箇所			方法：教科書、資料を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①、②を理解する 準備学習：教科書①、②の予習		
10						
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
評価テスト等	取組姿勢			社会に出てからの実務や建築士試験を受験するときに不可欠な、建築一般構造について学ぶ。		
80 %	20 %	%	%	1		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				年の前期は木造について仕組みを中心に解説をし、小テストで理解度を確認しながら合格基準への到達を目標とする。		
実務経験教員の経歴		建築大工として約5年実務に携わる				